チーム

フルタイムで関わるメンバーのほか、プロジェクトの目的に応じたチームを随時組織し、柔軟に活動。

小林 亮介
代表理事

HLAB代表。1991年東京都生まれ。桐朋高校、1年間の交換留学を経て、2009年4月に一橋大学、9月にハーバード大学に入学。2011年に高校・大学生対象の教育事業HLABを立ち上げ、14年に法人化し代表。奨学金の設立やカレッジの企画運営に取り組む。2014年三極委員会のロックフェラー・フェローにアジア太平洋地域を代表して選出、世界経済フォーラム（ダボス会議）傘下のグローバル・シェーパーズ・コミュニティのメンバー。大学在学中は政治・経済学を修める。

竹内 弘高
理事

1969年、国際基督教大学卒業。71年に米カリフォルニア大学バークレー校で経営学修士（MBA）、77年に博士号を取得。ハーバード・ビジネス・スクール、一橋大学商学部の助教授を経て、87年、一橋大学教授に就任。一橋大学大学院国際企業戦略研究科の立ち上げに尽力し、10年までの12年間、研究科長を務めた。一橋大学名誉教授で、2010年から米ハーバード・ビジネス・スクール教授を務める。

横山 匡
監事

1958年東京生まれ。中学時代をイタリア、高校、大学を米国で過ごす。UCLA言語学部卒。在学中、日本人初のNCAAバスケットボールチームヘッドマネージャーとして各地に遠征。卒業後帰国し、以来語学留学指導に携わる。現在、アゴス・ジャパン代表取締役。社外ではHLABアドバイザー、ワーク・ライフバランス社アドバイザー、JAOS海外留学協議会理事など、学生団体やアスリート支援を中心に活動中。

市村 良三
HLAB OBUSE 実行委員長

小布施町長。長野県長野高等学校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業。ソニー（株）の後、27歳で帰郷。1979年（昭和54年）末、おじ（実父の兄）で元県議・小布施町長の市村郁夫氏が亡くなり、翌年、郁夫氏の子息でいとこの市村次夫氏とともに（株）小布施堂の経営を引き継ぐ。町並み修景事業を推進。取締役営業部長を経て、元代表取締役副社長。元（株）桝一市村酒造場副社長。2004年12月小布施町長初当選。

小松 洋介
地域コーディネーター

特定非営利活動法人 アスヘノキボウ 代表。大学卒業後、株式会社リクルートに入社。東日本大震災を機に退職、女川町復興連絡協議会戦略室に入室。2013年アスヘノキボウを設立し代表理事、2014年4月女川町商工会職員として、まちづくり担当を兼任。国内外と女川をつなぐハブ役として、まちづくり、創業支援、事業開発、移住、人材育成等に携わる。2014年にAERA「日本を突破する100人」、2015年に日本青年会議所人間力大賞経済産業大臣賞。

浦田 修伍
ウェブクリエイティブサポーター

1993年大阪府生まれ。幼少期をドイツで過ごす。大学在学中よりUI/UXデザイナーとして活動をスタートし、ITスタートアップ数社でサービス設計を担う。現在は東京に拠点を持ちながら、日本各地にある言語化されていない魅力をWEBや映像を通して伝え、ヒトとモノが循環する仕組みづくりを行なっている。

梶川 奈津子
PRコミュニケーションサポーター

1992年、広島県生まれ。福岡県出身。早稲田大学文学部在学中に、クリエーティブブティックやHLABにおいて、PRコミュニケーションの現場を経験。卒業後も、コミュニケーションデザインを軸に活動を続ける。人材広告会社では、コーポレートおよび採用PRに従事。個人では編集・ライターとして、ミレニアルズ向けのWebメディアを中心に執筆中。

河合 道雄
奨学金戦略担当サポーター

2011年～2014年のHLAB実行委員。東京大学文学部、京都大学大学院教育学研究科を経て、現在は株式会社LITALICOで社会課題の克服に取り組む。在学中、HLABの立ち上げに従事、また大学院在学中には米国HarvardXにてオンライン教材制作に関わる。「トビタテ！留学JAPAN」の効果測定にも携わる。

守谷 僚泰
設計室サポーター

2012年University of Arkansas Fay Jones School of Architecture、2015年にHarvard University Graduate School of Design (GSD)を卒業。学生時代は都市計画やデジタルファブリケーションを中心に研究。現在は、隈研吾建築都市設計事務所にて商業建築やリゾートホテル等の設計に携わる。レジデンシャル・カレッジ事業を設計面からサポート。

黒川 清
理事

東京大学医学部卒、同大助手を経てペンシルベニア大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)、南カリフォルニア大学医学部准教授を経てUCLA　医学部教授。その後、東京大学教授、東海大学教授　医学部長を務める。学会の要職を歴任後、日本学術会議会長も務めた。06年より政策研究大学院大学　教授、その後同アカデミックフェロー。11年に国会福島原発事故調査委員会委員長。その活動に対し米誌『フォーリン・ポリシー』の世界的思想家トップ100の1人に選出。

高田 修太
共同創設者・理事

1989年生まれ。当時国内水質ワースト１という不名誉な手賀沼のある町、我孫子市で田んぼに囲まれ育つ。東京大学工学部、同大学院工学系研究科修了。米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校でも1年間研究留学を行った。大学院修了後はボストン・コンサルティング・グループにて通信・デジタル関連の戦略策定プロジェクトにコンサルタントとして携わったのち、2017年HLABに復帰。

Ezra Vogel
特別顧問

ハーバード大学名誉教授。1930年米国生まれ。オハイオウェスリアン大学卒業後、米陸軍を経て、ハーバード大学にて博士号取得。日本に加え、中国研究も着手。67年にハーバード大学教授、その後同大学東アジア研究所長、日米関係プログラム所長、フェアバンク東アジア研究センター長などを歴任。著書『ジャパン・アズ・ナンバー・ワン』は日本でベストセラーになった。2011年には10年強を投じて執筆した『鄧小平』を出版。

山崎 繭加
人事戦略担当パートナー

華道家・ハーバード・ビジネス・レビュー特任編集委員。東京大学経済学部卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニー、東京大学先端科学技術研究センターを経て、ジョージタウン大学国際関係大学院へ。2016年8月末まで10年にわたり、ハーバード・ビジネス・スクール（HBS）日本リサーチセンターでアシスタントディレクターを務める。また、2010年から2017年まで、東京大学医学部特任助教としてリーダーシップ・プログラム運営に従事。

甚上 直子
研修アドバイザー

ハーバード・ビジネス・スクール（HBS）日本リサーチ・センター。マッキンゼー・アンド・カンパニー東京支社およびMcKinsey Global Institute（米国）での勤務を経て、東京大学特任助教としてリーダーシップ・プログラムの開発・運営に従事。また、設立準備段階から携わるUWC　ISAK　Japanにおいて、教育・研修プログラムの設計・運営を担当。国際基督教大学教養学部卒、米国スタンフォード大学教育大学院修士課程修了。

大宮 透
地域コーディネーター

慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター研究員。東京大学工学系研究科修士課程在学中の2013年より小布施町に移住。2013年度より、官学連携研究機関「法政大学・小布施町地域創造研究所」（現・慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター）の主任研究員。都市計画等の専門領域で得た知見や東北における実践的なまちづくり活動の経験を生かし、「小布施若者会議」など、行政や町民、町外の若者をつなぐプロジェクトを企画立案、コーディネートしている。

伊納 達也
映像ディレクター

Filmgrapher。1988年愛知県春日井市生まれ。関西学院大学在学時より、社会問題の映像化・サイエンス領域の視覚化をテーマとして、映像作家としての活動をスタート。卒業後、東映CM株式会社に入社。2012年からはビデオグラファーとしてノンフィクション・コマーシャル映像の制作を始める。プロジェクトに寄り添った形の「映像を使ったコミュニケーションの構築」を専門に活動中。

谷口 優太
ファンドレイジング･ワークショップサポーター

旅行コンサルタント、ワークショップデザイナー。三重県鳥羽市の旅館「扇芳閣」の5代目跡取り息子として生まれる。6歳から現在まで野球を続け、明治大学野球部で活動したのちに、ワシントン州立大学にスポーツ留学。ハスキーズでアシスタントマネージャーを務める。在学中は、東北の復興支援活動やHLAB運営、企業向け研修の設計など行う。卒業後は、旅行会社Expediaにて旅館コンサルティング事業に従事したのち、現在は長野県小布施町にて観光DMOの立ち上げを行っている。

高橋 祥子
奨学金戦略担当サポーター

2011年及び2012年のHLAB実行委員。慶應義塾大学法学部を卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに就職。教育分野への興味・関心から、文部科学省官民協働.海外留学創出プロジェクト「トビタテ！留学　JAPAN」プロジェクトメンバーとして留学生向けコミュニティの制度設計や成果指標の設計等に関わる。現在は、地域における社会課題を解決するプロジェクト等を行うGlobal Shapers Communityの一員としての活動にも従事。

水上 友理恵

広報・渉外担当ディレクター

1991年生まれ。慶應義塾大学在学中に英エディンバラ大学留学・ケニア訪問をきっかけに、コミュニティと教育に関心を持つ。ロンドンスクール・オブ・エコノミクス大学院社会学科を修了後、JICAアフリカ部で勤務し、マラウイ国カントリー・オフィサーとして南部アフリカのインフラ開発に従事後、WeWorkにてコミュニティマネジメントに従事。2019年4月よりHLABへ再度参画し、広報・支援者との関係構築、レジデンシャル・カレッジ事業を中心に手がける。

櫻堂 美夏子

総務担当マネージャー

1988年生まれ。小学生時代2年間を米国コネチカット州で過ごす。日本大学芸術学部演劇学科演技コース卒業。在学中は川村毅氏、加藤直氏等の作品に出演。卒業後、フリーの女優としてミュージカルや小劇場を中心に活動。「ラフカット2012」をきっかけに堤泰之氏の作演舞台に多く出演。2016年より女優業を一旦休止し、HLABに参画。バックオフィス全般を担当する傍ら、2018年より女優業も再開。

神馬 光滋

CTO

Flagship LLC Captain。1989年、千葉県生まれ。少年期をカトマンズ、ボストンで過ごす。大学卒業と同時にFlagship LLCを創業し、インターネット領域での自己表現の加速支援集団として活動。HLABには直接参加したことがないものの、インターネット領域担当パートナーとして伴走中。フルスタックエンジニア/UXディレクター。

山﨑 奈都子

共同創設者・ディレクター

1989年生まれ、横浜育ち。小学校後半をイギリスの田舎町で過ごす。東京大学法学部卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーの東京オフィス及び米国オフィスで勤務し、消費財・小売業の海外進出、マーケティング戦略立案をサポート。その他、政府系機関にて日本の国際広報に従事。2017年9月よりMBA留学の予定であったが、一年延期し、HLABへ再度参画。レジデンシャル・カレッジ事業を中心に手がける。